

継続的専門能力開発(CPD)認定登録書(参加学習型)

プログラム番号	
教育形態	セミナー
プログラム名	ISO9000 セミナー 業務に活かす内部監査の進め方コース
主催者(団体)	一般財団法人日本規格協会
協賛・後援	
開催日程	詳細につきましては、日本規格協会ホームページをご覧ください。
総時間	6 時間
開催場所	
対象者	・既に内部監査員をされている方 ・内部監査のスキルアップを目的にされている方
定員	
題目	
プログラム(次第)	<p>【第1日】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 原点回帰「内部監査は何のため？何に役立つ？」 <input type="checkbox"/> ISO9001・・・それぞれの要求事項が、なぜ存在するか <input type="checkbox"/> チェックリストの見本から、監査の進め方と捉え方 <input type="checkbox"/> 監査報告書から、監査結果のまとめ方と伝え方 <input type="checkbox"/> 監査での押さえどころを、チームで検討 <input type="checkbox"/> 品質マネジメントシステムの良好事例について <input type="checkbox"/> 内部監査での話術・行動と、相手の気持ちについて <input type="checkbox"/> 内部監査の結果を活用し、自分の成長に活かすために <p>※プログラム・講師は変更になる場合がございます。</p>
内容	<p>内部監査員の研修に出ると、講義でいろいろと教わり、監査場面を記した演習課題を渡されて、自分で考え、チームで検討します。発表内容に対する講師講評を受けてメモをとり、修了証をもらって帰りますが、手元に残るのは、自分が書いた演習課題の答えと、追記したメモだけで、いざ内部監査の本番となっても、演習課題と同じ状況に遭遇することはないため、結局また自分で考えますが、あまり研修の成果は活きていません。</p> <p>内部監査員の成長を促すための研修は、内部監査の実践の場や、組織の将来に役立つようにすることが本来の役割だと考えます。</p> <p>本コースは事例資料と講義が中心です。良い事例を見て知ることで、新たな刺激が加わり、工夫のヒントが得られます。また、書籍を一人で読むのとは異なって、講師からエピソードなどの具体的な話を聞くことで、自分なりにイメージできるようになり、さらに進化できます。事例集は、後から何度も取り出して、自己学習することができます。</p>
プログラムの目標	
CPD点数	20 点
料金	一般 : ￥ 32,400 <税込> 、 日本規格協会 維持会員 : ￥29,160 <税込>

備考(問い合わせ先)	一般財団法人 日本規格協会 研修ユニット TEL:03-4231-8570 FAX:03-4231-8675
詳細URL	https://webdesk.jisa.or.jp/seminar/W12M1010/index/005/001/001